標準単価(東京地区)から積算単価への補正方法

補正式

標準単価は、東京地区(東京 17 区)における基準年月(令和6年4月)の施工単位当たりの単価であることから、地域および時期の違いによる補正を行い、積 算単価にします。 標準単価(P)から積算単価(P')への補正は、各施エパッケージの機労材構成比を用い、下記の式により算出します。

$$P' = P \times \left\{ \left[\frac{\text{K1r}}{100} \times \frac{\text{K1t'}}{\text{K1t}} + \cdot \cdot \cdot + \frac{\text{K3r}}{100} \times \frac{\text{K3t'}}{\text{K3t}} \right] \times \frac{\text{Kr}}{\text{K1r} + \cdot \cdot \cdot + \text{K3r}} + \left[\frac{\text{R1r}}{100} \times \frac{\text{R1t'}}{\text{R1t}} + \cdot \cdot \cdot + \frac{\text{R4r}}{100} \times \frac{\text{R4t'}}{\text{R4t}} \right] \times \frac{\text{Rr}}{\text{R1r} + \cdot \cdot \cdot + \text{R4r}} + \left\{ \left[\frac{\text{Z1r}}{100} \times \frac{\text{Z1t'}}{\text{Z1t}} + \cdot \cdot \cdot + \frac{\text{Z4r}}{100} \times \frac{\text{Z4t'}}{\text{Z4t}} \right] \times \frac{\text{Zr}}{\text{Z1r} + \cdot \cdot \cdot + \text{Z4r}} + \left[\frac{\text{Sr}}{100} \times \frac{\text{St'}}{\text{St}} + \frac{100 - \text{Kr} - \text{Rr} - \text{Zr} - \text{Sr}}{100} \right] \right\}$$

 P'
 : 積算単価(積算地区、積算年月)

 P
 : 標準単価(東京地区、基準年月)

Kr : 標準単価における全機械 (K1~K3.他) の構成比合計

K1r~K3r : 標準単価における代表機械規格 K1~3 の構成比 K1t~K3t : 代表機械規格 K1~3 の単価(東京地区、基準年月)

K1t'~K3t': 代表機械規格 K1~3 の単価(積算地区、積算年月)

Rr: 標準単価における全労務(R1~R4.他)の構成比合計

R1r~R4r :標準単価における代表労務規格 R1~4 の構成比

R1t~R4t : 代表労務規格 R1~4 の単価(東京地区、基準年月)

R1t'~R4t':代表労務規格 R1~4 の単価(積算地区、積算年月)

Zr :標準単価における全材料 (Z1~Z4,他) の構成比合計

Z1r~Z4r : 標準単価における代表材料規格 Z1~4 の構成比

Z1t~Z4t : 代表材料規格 Z1~4 の単価 (東京地区、基準年月)

Z1t'~Z4t': 代表材料規格 Z1~4 の単価(積算地区、積算年月)

Sr :標準単価における市場単価 S の構成比

St:市場単価 Sの所与条件における単価(東京地区、基準年月)

St': 市場単価 S の所与条件における単価(積算地区、積算年月)

→施工パッケージ型積算方式標準単価表

→施工パッケージ型積算方式標準単価表

→施工パッケージ型積算方式標準単価表

→損料は令和6年度建設機械等損料表(一般社団法人 日本建設機械施工協会)

賃料は物価資料(令和6年4月)

→損料は令和6年度建設機械等損料表(一般社団法人 日本建設機械施工協会)

賃料は物価資料等

→施工パッケージ型積算方式標準単価表

→施工パッケージ型積算方式標準単価表

→三重県の公共事業情報 県土整備部積算基準の制定について

公共工事労務単価 関東 13 東京都

→設計単価表第2章労務単価

→施工パッケージ型積算方式標準単価表

→施工パッケージ型積算方式標準単価表

→「代表材料の基準単価(東京地区)作成方法について」(令和 7 年 7 月制定分)

「施エパッケージ型積算方式 代表機労材規格一覧」(令和 7 年 7 月制定分)

「施工パッケージ型積算方式 基準材料・機械賃料単価(東京地区)」(令和 7 年 7 月制定分)

→設計単価表 第 1 章 3. 材料単価等の決定方法(土木工事編)に基づき決定

→施工パッケージ型積算方式標準単価表

→「施工パッケージ型積算方式 基準材料・機械賃料単価(東京地区)」(令和 7 年 7 月制定分)

→設計単価表 市場単価編

標準単価から積算単価への補正方法は、地域及び時期の違いによる補正(下記①)に加え、下記②~⑥の補正が必要な場合があります。

- ① 地域及び時期の違いによる補正
- ② 代表材料以外の規格により積算する場合
- ③ 条件区分に実数入力を行い積算する場合
- 4) 時間外割増賃金や豪雪地域補正等を行う場合
- ⑤ 支給品がある場合
- ⑥ 無償貸付機械がある場合

| 計算例については、以下リンク「令和7年度施工パッケージ型積算方式標準単価表」Ⅱ-2標準単価から積算単価への計算例を参照してください。